

The image shows the cover of a financial report. The background is a light gray with a repeating geometric pattern of overlapping triangles, creating a textured, crystalline effect. In the center, the Nissan logo is displayed in a bold, black, sans-serif font. Below the logo, the text '2021年度 上期' and '決算報告' is centered. At the bottom, the company name '日産自動車株式会社' and the date '2021年11月9日' are also centered.

NISSAN
MOTOR CORPORATION

2021年度 上期
決算報告

日産自動車株式会社
2021年11月9日

➡ 2021年度 上期 実績

2021年度 見通し

2

NISSAN
MOTOR CORPORATION

(COO アシュワニ・グプタ)

皆さんこんにちは。

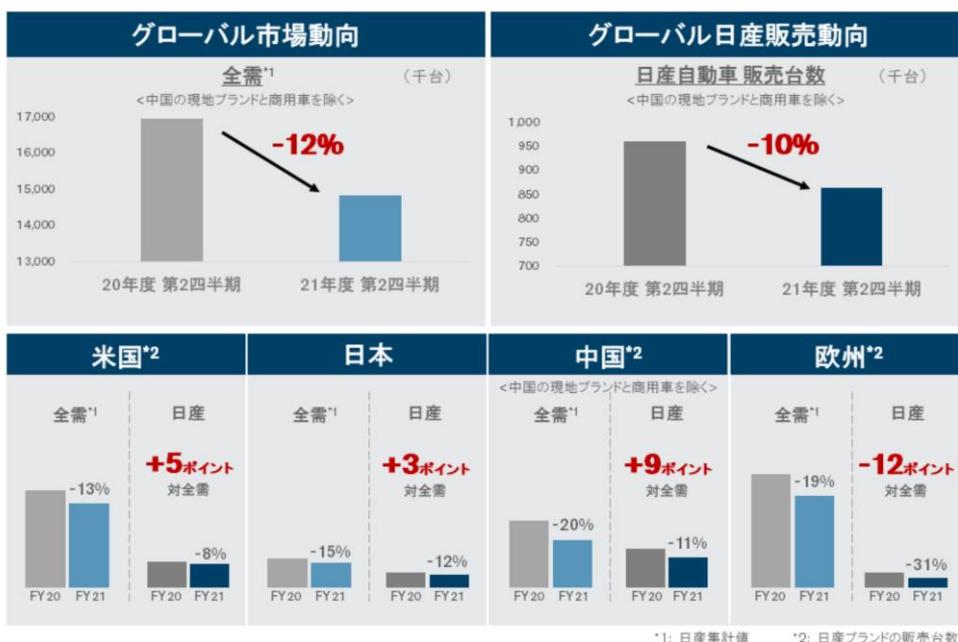
本日はお忙しい中ご参加いただき誠にありがとうございます。

まず、新型コロナウイルスの感染拡大や半導体の供給不足等による車両の生産遅れにより、お客さまにご迷惑をおかけしていますことを、深くお詫び申し上げます。

また、極めて厳しい環境の中、常にお客さまを第一に考え、様々な課題に対応している世界中の従業員の皆さんに感謝したいと思います。

こうした課題にしなやかに対応し、私たちはお客さまに高い価値をお届けすることに集中しています。そして、事業構造改革「Nissan NEXT」を推進し、現在の厳しい状況から、より強い会社となって脱却していくことができると考えています。

2021年度 第2四半期(3ヵ月) 自動車市場の動向



3

NISSAN
MOTOR CORPORATION

ではビジネスの概況からご説明したいと思います。

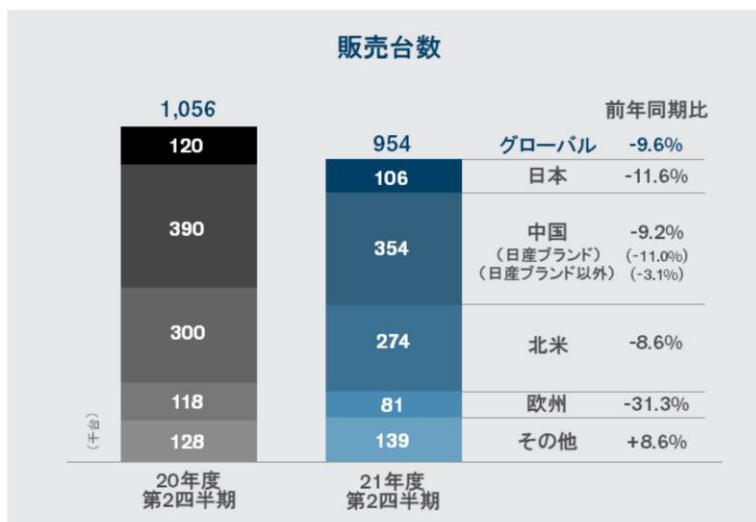
ご存じのように、2021年度の第2四半期においても、自動車市場は、引き続き新型コロナウイルスの感染拡大と、世界的な半導体の供給不足を中心とする不安定なサプライチェーンの影響を受けています。その結果、グローバル全体需要は前年を12%下回りました。

当社の第2四半期のグローバル販売台数は、全体需要と同様の傾向を示し、前年から10%減少しました。

一方、数々の逆風が吹く中、当社の第2四半期の販売台数は重点市場の米国、中国および日本では全体平均を上回るパフォーマンスを見せました。

しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大の影響が続く欧州市場は、半導体供給不足の影響が最も大きく、当社の小売り台数は全体平均を12ポイント下回りました。これは事業の継続性を維持するため、車種構成および市場のミックスを優先した結果です。

2021年度 第2四半期 販売実績



4

NISSAN
MOTOR CORPORATION

厳しい外部環境の影響により、重点市場では市場の動きを上回る販売実績を記録したものの、当社のグローバル販売台数を押し下げました。

国内の当社の販売台数は前年比11.6%減の10万6,000台となりました。中国は前年比9.2%減の35万4,000台となり、北米は前年比8.6%減の27万4,000台となりました。

最も外部環境が厳しい欧州では、販売台数は前年比31.3%減の81,000台に留まりました。

その他の市場では前年から台数を伸ばし、8.6%増の13万9,000台となりました。

2021年度 第2四半期 新型車のパフォーマンス

新型車の立ち上げに成功

ノート オーラ(日本)



受注台数

21千台
10月末累計

キャシュカイ(欧州)



受注台数

58千台
10月末累計

市場での強いプレゼンス

パスファインダー(米国)



セグメントシェア

+1.7ポイント



フロンティア(米国)



セグメントシェア

+5.3ポイント



*1: 新型車のパフォーマンス

これまで投入してきた新型車は、おかげさまで大変ご好評をいただいています。

例えば、10月末現在で、国内の「ノート オーラ」は21,000台のご注文をいただいております、欧州の「キャシュカイ」は58,000台のご注文をいただいています。

米国市場においては、新型「パスファインダー」と新型「フロンティア」が、今夏の発売以降、市場占有率の拡大を支えています。

「パスファインダー」のセグメント・シェアは1.7ポイント増の4.7%、「フロンティア」のセグメント・シェアは5.3ポイント増の9.9%に達しています。

2021年度 第2四半期 NISSAN NEXT新型車の躍進



6

NISSAN
MOTOR CORPORATION

Nissan NEXTの発表以降に発売した新型車もおかげさまでご好評をいただき、好調な販売を続けています。

第2四半期は、国内の「ノート」と「キックス」e-POWERが好調で、両車種のセグメント・シェアはそれぞれ2.9ポイントと3.6ポイント上昇しています。

米国の「ローグ」と「セントラ」も同様の伸びを見せています。「ローグ」は2.3ポイント、「セントラ」は1.8ポイント、セグメント・シェアを伸ばしています。

中国では「シルフィ」が4.5ポイントと飛躍的にセグメント・シェアを伸ばし、インドの「マグナイト」は4.4ポイント伸ばしました。

こうした結果は、いかに私たちの商品が多くのお客さまからご好評をいただいているか、そして当社の事業活動に勢いがあるかを示しています。市場ごとにお客さまのニーズにきめ細かく対応した商品ラインナップが、この勢いを支えているのです。

2021年度の戦略的発表



第2四半期も、日産は商品・技術・生産設備の強化に向けた積極的な投資を続けてきました。

8月には、米国で新型「Z」を発表しました。初代Zへのオマージュであるアイコンックなデザインの新型「Z」は、今後もスポーツ・セグメントにおける日産の財産であり続けます。

電動化にも引き続き積極的に取り組んでいます。新型の軽EVは2022年度の初旬に発売する予定です。日産は国内市場の4割を占める軽自動車市場に最先端の運転支援技術プロパイロットを搭載した電気自動車を投入する初めてのメーカーとなります。

中国ではe-POWER技術の展開を加速させています。合弁事業のパートナーである東風汽車集団有限公司とともに、「シルフィ」を皮切りにe-POWER技術の適用を拡大していきます。

当社は新車攻勢を進める一方で、より環境に優しいスマートな生産現場の導入を進めています。

英国ではEV36Zeroの第一弾を発表しました。10億ポンドにのぼる投資を行い、日産独自の電気自動車の生産エコシステムを確立します。

先月は、栃木工場にニッサン インテリジェント ファクトリーを初めて導入しました。同工場は、革新的な技術を使って、次世代モデルを生産するスマートな工場です。

こうしたすべての取り組みは、カーボン・ニュートラルの実現に向けて推進されています。

市場・顧客の評価

技術と製品

e-POWER



e-Pedal

人のための
イノベーション

e-4ORCE



プロパイロット

MOTOR AWARDS 2021

GOOD DESIGN

AutoPacific VSA

<2021年度受賞>

- ▶ JDパワー 自動車魅力度・初期品質調査
- ▶ モーター アワード 2021
- ▶ グッドデザイン賞
- ▶ 最も満足度の高いSUV賞



顧客満足度

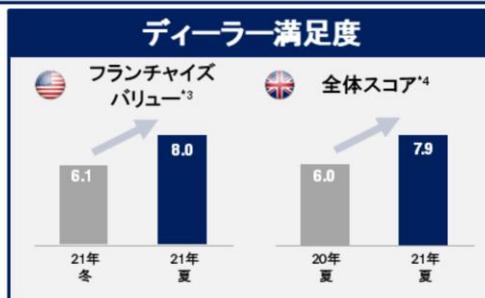
<ディーラーサービス>

- ▶ ソーシャルレピュテーションNo.1(米国)¹⁾

<オンライン販売>

- ▶ Nissan Buy@Homeのイノベーションに対する2021PACE Award(米国)²⁾
- ▶ ベストオンラインカスタマーサービス賞(フランス)





¹⁾ 2021年Automotive Reputation Report(Non-Luxury)

²⁾ Premier Automotive Suppliers' Contribution to Excellence Award

³⁾ NADA survey 21 Summer result

⁴⁾ NFDA Dealer Attitude Survey

ブランドパワーの向上

NISSAN
MOTOR CORPORATION

今年度の上期の結果は、これまで進めてきたお客さま価値の向上に向けた取り組みの成果であり、日産の商品に対するお客さまの評価が高まっていることを物語っています。

また、電動化技術のe-POWERやe-4ORCE、運転支援技術のプロパイロット等が、お客さまの心に響いているということでもあります。こうした革新的な技術は、人々の生活を豊かにするために、お客さまを中心に考え抜かれています。

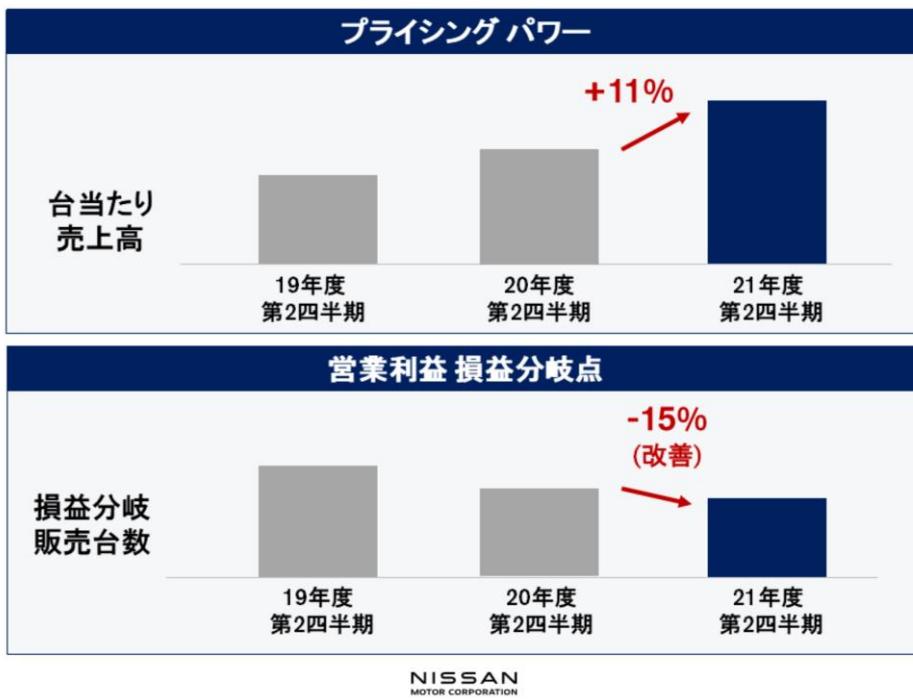
さらに、当社の商品とサービスは、権威ある複数の第三者機関からも評価されています。

また、デジタルをきっかけとした販売は、お客さまにシームレスなカスタマー・ジャーニーを提供しますが、この比率が第2四半期は第1四半期比で6ポイント増え、全体の約20%となりました。当社はオンライン販売の対象を拡大しており、ご利用いただいたお客さまにはご好評をいただいております。

ディーラーとの信頼関係の構築にも取り組んでいます。優れた商品と力強い協力関係のもと、大切なパートナーである販売会社の皆さんのモチベーションの維持向上に努めています。

なぜなら、優れた商品と技術でお客さまの経験価値を高め、ディーラーとの強い協力関係によってお客さまのタッチポイントを効率化することで、ブランド・パワーが大きく向上するからです。

2021年度 第2四半期 グローバル パフォーマンスの進捗



Nissan NEXTでは「量」より「価値」に集中する企業文化へと改革を進めています。そして、台数を追求するのではなく、収益性を重視する取り組みも大きく前進しています。

台当たりの売上高は、前年から11%増と大きく改善しました。グレード・ミックスと残存価値の改善、そして価格の徹底管理が売上高の増大に寄与しています。

その結果、営業利益の損益分岐点となる販売台数は、前年からさらに15%低減すると同時に、持続可能な成長に向け商品・技術への投資を強化しています。

2021年度 上期 財務実績

(億円)

	売上高	営業利益 (営業利益率)	当期純利益 ^{*1}	自動車事業 フリーキャッシュフロー	自動車事業 ネットキャッシュ
持分法適用ベース	30,927 20年度上期 39,470 21年度上期	-1,588 (-5.1%) 1,391 (3.5%) 20年度上期 21年度上期	-3,300 20年度上期 1,686 21年度上期	-5,046 20年度上期 -3,490 ^{*2} 21年度上期	5,058 20年度上期末 5,523 21年度上期末
中国合弁会社 比例連結ベース	35,677 20年度上期 45,986 21年度上期	-1,045 (-2.9%) 1,997 (4.3%) 20年度上期 21年度上期	-3,300 20年度上期 1,686 21年度上期	-5,499 20年度上期 -3,588 ^{*2} 21年度上期	7,941 20年度上期末 9,498 21年度上期末

流動性の状況(2021年9月末時点)

1. 自動車事業手元資金:1兆3,970億円(持分法適用ベース)、1兆8,097億円(中国合弁会社比例連結ベース)
2. 未使用コミットメントライン:約1.8兆円

*1: 親会社株主に帰属する当期純利益 *2: 2021年度第1四半期にダイムラーAG株式の売却による収入+1,500億円を含む

10

NISSAN
MOTOR CORPORATION

次に、2021年度上期の財務実績についてご説明したいと思います。上期は厳しい環境下でありながら、想定を上回る結果を出すことができました。

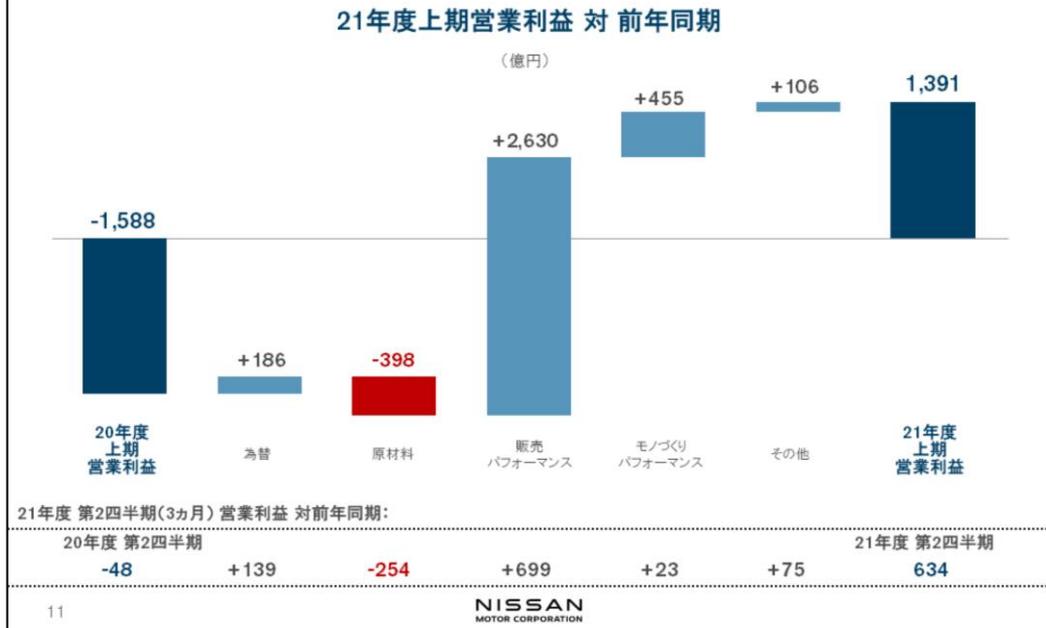
こちらが中国合弁会社比例連結ベースと持分法を適用したベースの主な財務指標です。

2021年度上期の中国事業を除く持分法適用ベースの連結営業利益は1,391億円、売上高営業利益率は3.5%となりました。当期純利益は1,686億円となり、自動車事業のフリーキャッシュフローは半導体の供給不足による減産の影響を受け、運転資本が悪化し、マイナス3,490億円となりました。自動車事業のネットキャッシュは5,523億円となりました。

中国合弁会社を含めた比例連結ベースの営業利益は1,997億円、売上高営業利益率は4.3%となり、Nissan NEXTで掲げる21年度中に2%にするという目標を上回っています。自動車事業のネットキャッシュは9,498億円となりました。

当社は引き続き高い流動性を維持しており、中国事業持ち分法適用ベースの現金および現金同等物は約1.4兆円でした。さらに、約1.8兆円の未使用のコミットメントラインを保有しています。

2021年度 上期 財務実績 (持分法適用ベース)



こちらが営業利益の増減分析で、前年度の営業損失と今年度の営業利益を比較しています。

為替変動は主に米ドルとカナダドルのドル高により、増益要因となりました。

原材料価格の高騰は398億円の減益要因となりました。

利益を押し上げたのは主に販売パフォーマンスとモノづくりの継続的な改善です。

販売パフォーマンスは、2,630億円の増益要因となりました。その大部分は、グレード・ミックスと残存価値の改善、そして徹底した価格管理で販売の質が向上したことに加え、半導体の供給不足の影響によって需要が供給を上回った市場環境によるものです。

モノづくりパフォーマンスは、主に効率の改善によって増益要因となりました。

その他項目は106億円の増益要因となりました。

2021年度 上期 財務実績 (持分法適用ベース)

(億円)	20年度 上期	21年度 上期	増減	20年度 第2四半期	21年度 第2四半期
販売台数 (千台)	1,699	2,002	+303	1,056	954
売上高	30,927	39,470	+8,543	19,185	19,388
営業利益	-1,588	1,391	+2,979	-48	634
営業利益率	-5.1%	3.5%		-0.3%	3.3%
営業外損益 ^{*1}	-730	454		52	308
経常利益	-2,318	1,845	+4,163	4	942
特別損益 ^{*2}	-891	769		-167	-34
税金等調整前当期純利益	-3,209	2,614	+5,823	-163	908
税金費用	-40	-794		-243	-305
少数株主利益 ^{*3}	-51	-134		-38	-62
当期純利益 ^{*4}	-3,300	1,686	+4,986	-444	541
為替レート	(ドル/円) 107 (ユーロ/円) 121	110 131	+3 +10	106 124	110 130

*1: 持分法による投資損益 -780億円(20年度 上期)、631億円(21年度 上期)、66億円(20年度 第2四半期)、448億円(21年度 第2四半期)を含む

*2: 下記項目を含む

- 新型コロナウイルス感染拡大による操業停止等に伴う損失(純額): -351億円(20年度 上期)、-19億円(20年度 第2四半期)

- 事業構造改革費用: -540億円(20年度 上期)、-139億円(20年度 第2四半期)

- ダイムラーAG株式の売却益: +761億円(21年度 上期)

*3: 非支配株主に帰属する当期純利益

*4: 親会社株主に帰属する当期純利益

12

NISSAN
MOTOR CORPORATION

こちらは2021年度上期の持分法適用ベースの損益計算書です。

売上高は前年から8,543億円改善し、3.9兆円に達しました。前年から27.6%の増加に相当します。

営業利益は前年から2,979億円増加し、1,391億円となり、売上高営業利益率は前年から8.6ポイント増の3.5%となりました。

当期純利益は前年から4,986億円改善し、1,686億円となりました。営業利益の増加に加え、持分法適用会社の改善で増加した営業外利益と第1四半期に売却したダイムラーAG株の利益を含めた特別項目の改善が寄与しました。

前年度の上期との比較に加え、右には第2四半期の前年度との比較も示しており、いずれも改善しております。

2021年度 上期 実績

 2021年度 見通し

2021年度通期見通しについてご説明したいと思います。

2021年度 業績見通し (持分法適用ベース)

21年度今回見通し 対 前回見通し*

(億円)



21年度見通し 対 20年度実績:

	20年度 実績				21年度 今回見通し	
今回見通し	-1,507	-100	+6,750	-1,500	-1,850	1,800
前回見通し	-1,507	-200	+6,550	-1,500	-1,850	1,500

* 2021年7月28日発表の前回見通し

14

NISSAN
MOTOR CORPORATION

サプライチェーンの課題はあるものの、上半期の実績を踏まえ、7月に発表した通期見通しの営業利益1,500億円から1,800億円に修正いたします。

円安を受けて為替レート的前提を見直した結果、為替変動・規制対応コスト・商品性向上コストは前回の予想から改善しました。

為替変動に加え、継続的な販売パフォーマンスの改善が主な増益要因となっています。半導体の供給不足は引き続き全体需要に影響し、当社の販売台数は減少するものの、販売の質の向上と販売金融事業の収益性の改善等、販売パフォーマンスの強化によって減益分を相殺し、増益となることを見込んでいます。その結果、当社のパフォーマンスについては200億円の改善を見込んでいます。

新型車に対する投資は計画通り実施し、将来の成長に向けた投資を続けていきます。

原材料価格の見通しについても変更はありません。

2021年度 業績見通し (持分法適用ベース)

(億円)	20年度 実績	21年度 前回見通し ^{*1}	21年度 今回見通し	増減 対前年 (増減率)	増減 対前回見通し ^{*1} (増減率)
販売台数 (千台)	4,052	4,400	3,800	-252 (-6.2%)	-600 (-13.6%)
売上高	78,626	97,500	88,000	+9,374 (+11.9%)	-9,500 (-9.7%)
営業利益	-1,507	1,500	1,800	+3,307 (-)	+300 (+20.0%)
営業利益率	-1.9%	1.5%	2.0%	+3.9 ポイント	+0.5 ポイント
当期純利益 ^{*2}	-4,487	600	1,800	+6,287 (-)	+1,200 (+200.0%)
想定為替レート ^{*3}	(ドル/円) 106 (ユーロ/円) 124	108 129	110 130	+4 +6	+2 +1

^{*1}: 2021年7月28日発表の前回見通し

^{*2}: 親会社株主に帰属する当期純利益

^{*3}: 下期の想定為替レートは110円(ドル/円)、129円(ユーロ/円)

15

NISSAN
MOTOR CORPORATION

市場に対する半導体の供給不足の影響は想定を上回り、第2四半期の全体需要は12%減少しました。足元の9月は前年比19%減、10月は17%減少しています。米国では日系メーカーは9月に23%減少し、10月は28%落ち込んでいます。11月には回復すると見えますが、下期も不安定な状況が続くことを想定しています。

先行き不透明な中、全体需要の予想は難しく、当社は2021年度通期のグローバル販売台数を、前回見通しの440万台から保守的に380万台に見直しました。

2021年度通期の業績見通しは、上方修正します。

販売台数の減少により、売上高は前回見通しから9,500億円減少、9.7%減の8.8兆円となるものの、販売の質の向上により、販売台数の減少幅に比べ、減収の幅は限定的です。

中国の合弁会社に持分法を適用した通期の営業利益は、前回見通しから300億円改善し、1,800億円を見込んでいます。これは、持分法適用ベースで営業利益率2%に相当します。中国事業を含めた比例連結ベースの営業利益は2,800億円となり、営業利益率は2.8%となる見込みです。これは主として、販売の質の向上と販売金融事業の収益改善により、上半期の業績が予想を上回ったことによります。

通期の当期純利益は前回から1,200億円改善した1,800億円に上方修正しておりますが、これは主として営業利益の増加に加え、持分法適用会社の利益改善によるものです。

まとめますと、販売台数は大きく減少したものの、それに比較して売上高の減少幅は小さく、量ではなく価値の提供に集中することで、営業利益と当期純利益が改善されました。今期の業績は、上方修正した2.8%の営業利益率となり、Nissan NEXTの重要なマイルストーンである比例連結ベースで営業利益率2%を達成するという目標を上回ることができると確信しています。そして、2023年度末に5%の営業利益率を達成するという目標に向けて、順調に進んでいます。

最後に、持続可能な成長に向けた当社の強い決意について、改めてお話ししたいと思います。Nissan NEXTのもと、当社は事業構造を改革し、しっかりとした基盤を作ることに取り組んでいます。持続可能な成長を目指し、事業の適正化を進め、コア市場とコア商品に集中し、継続的に革新的な商品を投入しています。そして同時に、財務規律を徹底し、「量」より「価値」を優先する意識改革を推進しています。

7月に申しあげましたように、当社は慎重かつ前向きに事業運営を行いながら、サプライチェーンの分断等の混乱に積極的に対応し、強みである商品に集中し、力を最大限発揮しています。

今こそ、あるべき姿の実現に向けて歩みを進めていく時です。11月29日に日産の長期ビジョンを発表します。その場で、当社の戦略とNissan NEXT以降の重点活動について、ご説明する予定です。

日産は、人々の生活を豊かにするためにイノベーションをドライブし続け、従業員、パートナー、そして社会とともに、モビリティとその先を切り拓いていきます。

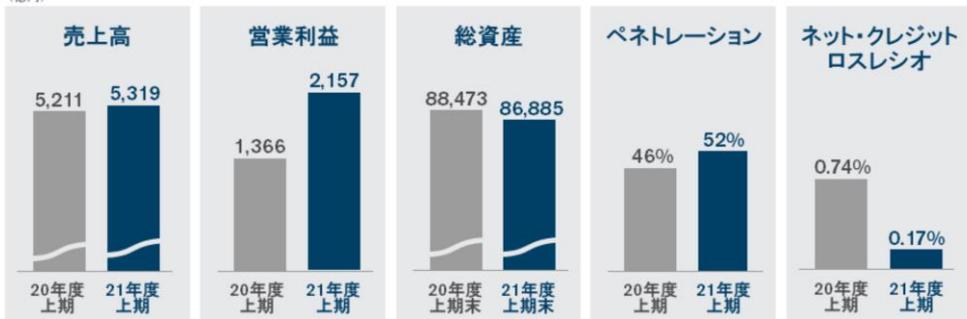
改革の次のステップに踏み出す当社の取り組みにご期待ください。
ご清聴ありがとうございました。



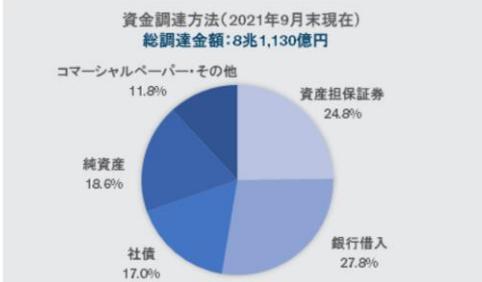
参考資料

販売金融

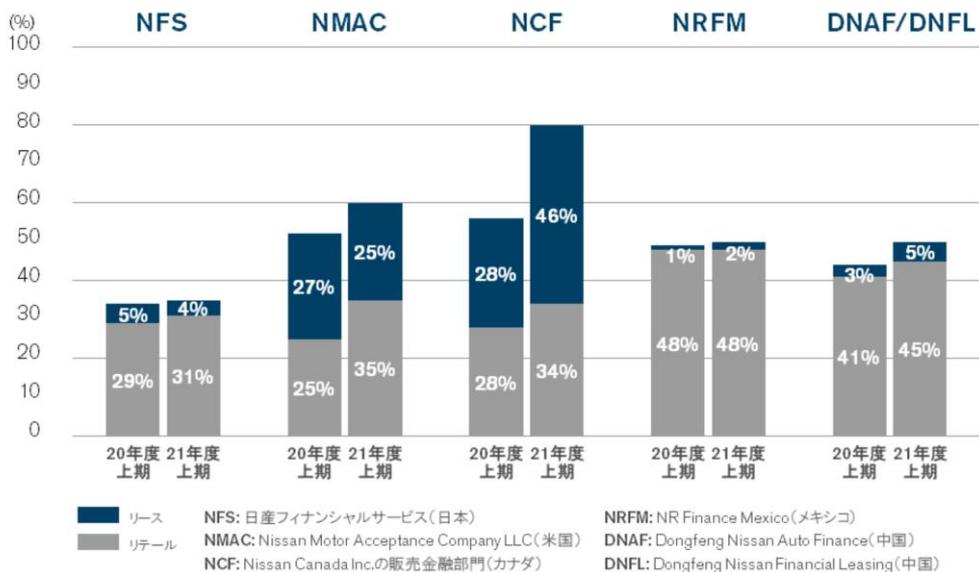
(億円)



- 強固な収益性とペネトレーション
- 販売台数やディーラー在庫の減少に伴い、総資産は減少
- ポートフォリオの質向上や中古車価格の上昇によるネット・クレジット・ロスの低下
- 多様な資金調達方法と強固な流動性及び自己資本



販売金融 ペネトレーション



販売金融 ネット・クレジットロスレシオ

	20年度 上期	21年度 上期	増減
NFS	リース: 0.02%	リース: 0.01%	リース: -0.01ポイント
	リテール: 0.06%	リテール: 0.06%	リテール: 0.00ポイント
	合計: 0.06%	合計: 0.05%	合計: -0.01ポイント
NMAC	リース: 0.63%	リース: -0.26%	リース: -0.89ポイント
	リテール: 1.12%	リテール: 0.27%	リテール: -0.85ポイント
	合計: 0.90%	合計: 0.04%	合計: -0.86ポイント
NCF	リース: 0.08%	リース: -0.01%	リース: -0.09ポイント
	リテール: 0.21%	リテール: 0.05%	リテール: -0.16ポイント
	合計: 0.15%	合計: 0.02%	合計: -0.13ポイント
DNFL* DNAF	リース: 0.49%	リース: 0.88%	リース: +0.39ポイント
	リテール: 0.14%	リテール: 0.10%	リテール: -0.04ポイント
	合計: 0.16%	合計: 0.17%	合計: +0.01ポイント

NFS: 日産フィナンシャルサービス(日本)

NMAC: Nissan Motor Acceptance Company LLC(米国)

NCF: Nissan Canada Inc.の販売金融部門(カナダ)

DNAF: Dongfeng Nissan Auto Finance(中国)

DNFL: Dongfeng Nissan Financial Leasing(中国)

*DNFLは事業開始から間もないため、クレジットロスの変動が大きくなっている

販売金融 営業利益・資産

	20年度 上期	21年度 上期	増減
NFS (億円)	資産: 13,955 営業利益: 162	資産: 13,598 営業利益: 242	資産: -357 営業利益: +80
NMAC (百万米ドル)	資産: 49,262 営業利益: 683	資産: 44,182 営業利益: 1,148	資産: -5,080 営業利益: +465
NCF (百万カナダドル)	資産: 8,385 営業利益: 116	資産: 8,015 営業利益: 153	資産: -370 営業利益: +37
NRFM (百万メキシコペソ)	資産: 116,967 営業利益: 1,816	資産: 92,120 営業利益: 2,867	資産: -24,847 営業利益: +1,051
DNAF DNFL (百万人民元)	資産: 63,238 営業利益: 1,510	資産: 68,851 営業利益: 1,618	資産: +5,613 営業利益: +108

NFS: 日産フィナンシャルサービス(日本)

NMAC: Nissan Motor Acceptance Company LLC(米国)

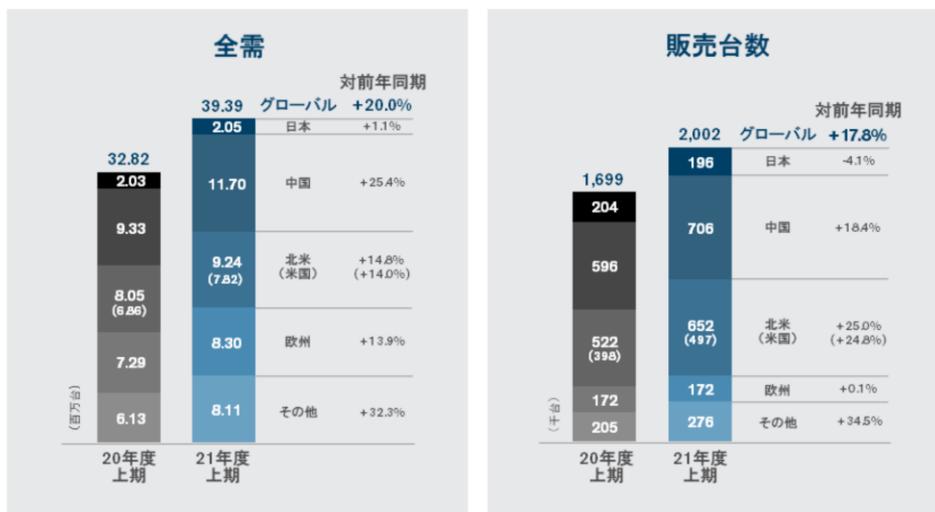
NCF: Nissan Canada Inc.の販売金融部門(カナダ)

NRFM: NR Finance Mexico(メキシコ)

DNAF: Dongfeng Nissan Auto Finance(中国)

DNFL: Dongfeng Nissan Financial Leasing(中国)

2021年度 上期 販売実績



中国の現地ブランドとLCVを含む
全需は日産集計値

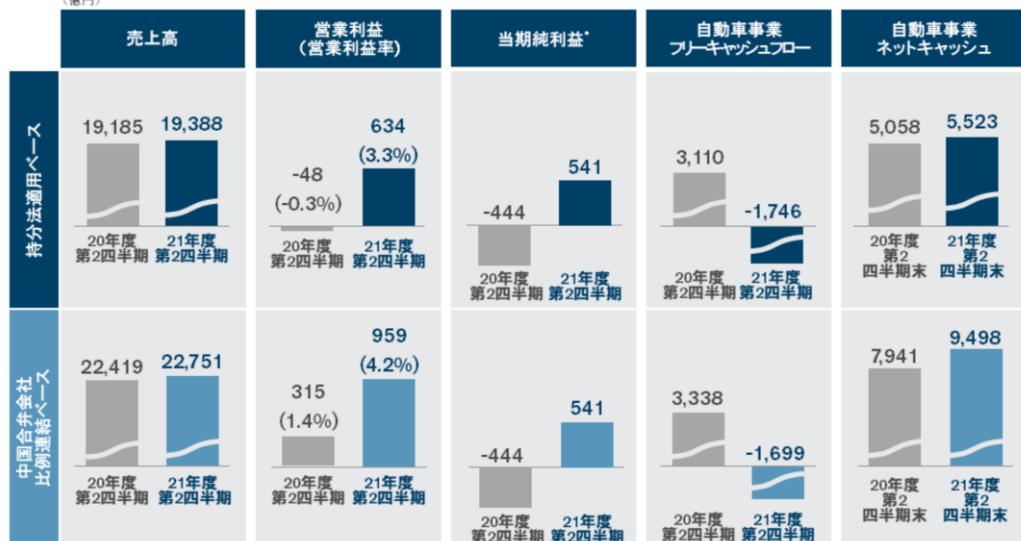
2021年度 第2四半期(3ヵ月) 販売実績



中国の現地ブランドとLCVを含む
全需は日産集計値

2021年度 第2四半期(3ヵ月) 財務実績

(億円)



* 親会社株主に帰属する当期純利益

財務実績 (持分法適用ベース)

(億円)			21年度
	第1四半期	第2四半期	上期
販売台数 (千台)	1,048	954	2,002
売上高	20,082	19,388	39,470
営業利益	757	634	1,391
営業利益率	3.8%	3.3%	3.5%
営業外損益 ^{*1}	146	308	454
経常利益	903	942	1,845
特別損益 ^{*2}	802	-34	769
税金等調整前当期純利益	1,705	908	2,614
税金費用	-488	-305	-794
少数株主利益 ^{*3}	-72	-62	-134
当期純利益 ^{*4}	1,145	541	1,686
為替レート	(ドル/円) 110	(ドル/円) 110	(ドル/円) 110
	(ユーロ/円) 132	(ユーロ/円) 130	(ユーロ/円) 131

*1: 持分法による投資損益 183億円(21年度 第1四半期)、448億円(21年度 第2四半期)を含む

*2: 下記項目を含む:

- ダイムラーAG株式の売却益: +761億円(21年度 第1四半期)

*3: 非支配株主に帰属する当期純利益

*4: 親会社株主に帰属する当期純利益

財務実績

(持分法適用ベース)

2021年度 上期 営業利益増減分析

(億円)

為替影響	台数・構成	販売費
+186	+633	+1,615
米ドル +154 (106.9 ⇒ 109.8)	日本 +24 台数 ¹ : -25	日本 -21 販売奨励金: +1
カナダ・ドル +109 (78.7 ⇒ 88.3)	構成: +40	その他: -22
オーストラリア・ドル +51 (73.4 ⇒ 82.6)	販売奨励金 ² : +9	米国 +1,008 販売奨励金: +1,166
ユーロ* -64	米国 +192 台数 ¹ : +305	その他: -158
アルゼンチン・ペソ -42 (1.52 ⇒ 1.15)	構成: +39	欧州 +115 販売奨励金: +150
中国人民幣元 -26 (15.4 ⇒ 16.7)	販売奨励金 ² : -152	その他: -35
その他 +4	欧州 -29 台数 ¹ : +85	メキシコ・カナダ +137
	構成: -48	その他 +376
	販売奨励金 ² : -66	
	メキシコ・カナダ +22	
	その他 +424	

* その他のヨーロッパ各国の通貨を含む
(ロシア・ルーブルは除く)

¹: カントリーミックスを含む
²: 台数増減に伴う販売奨励金の増減を含む

財務実績

(持分法適用ベース)

2021年度 第2四半期(3ヵ月) 営業利益増減分析

(億円)

為替影響	台数・構成	販売費
+139	-177	+866
米ドル +113 (106.2 ⇒ 110.1)	日本 -24 台数 ¹ : -62	日本 -3 販売奨励金: -5
カナダ・ドル +34 (79.7 ⇒ 87.4)	構成: +33	その他: +2
オーストラリア・ドル +17 (75.9 ⇒ 80.9)	販売奨励金 ² : +5	米国 +392 販売奨励金: +383
中国人民元 -15 (15.2 ⇒ 17.0)	米国 -115 台数 ¹ : -669	その他: +9
ユーロ* -12	構成: +123	欧州 +106 販売奨励金: +95
その他 +2	販売奨励金 ² : +431	その他: +11
	欧州 -92 台数 ¹ : -146	メキシコ・カナダ +94
	構成: -6	その他 +277
	販売奨励金 ² : +60	
	メキシコ・カナダ -40	
	その他 +94	

* その他のヨーロッパ各国の通貨を含む
(ロシア・ルーブルは除く)

¹: カントリーミックスを含む
²: 台数増減に伴う販売奨励金の増減を含む

財務実績 (持分法適用ベース)

フリーキャッシュフロー（自動車事業）

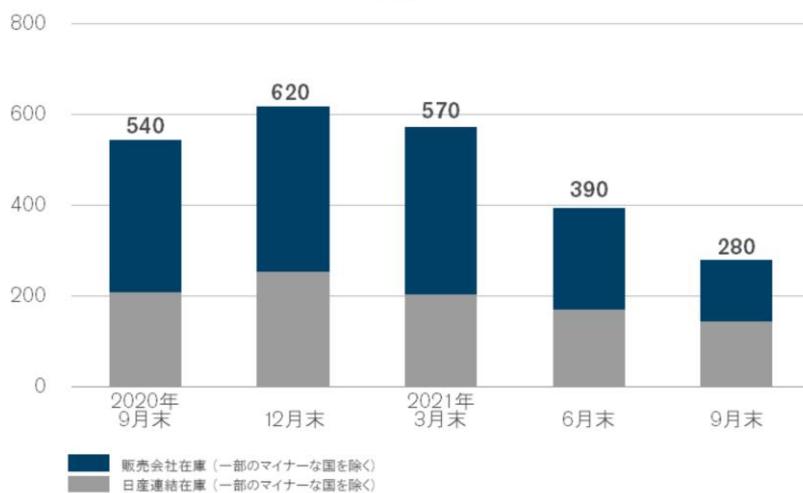
(億円)			21年度 上期
	第1四半期	第2四半期	
PL項目による現金収支	+233	+88	+323
買掛金・売掛金	-2,446	-1,067	-3,513
在庫	-271	-1,157	-1,428
税金・その他営業活動	+63	+1,155	+1,216
営業活動によるキャッシュフロー	-2,421	-981	-3,402
設備投資 ^{*1}	-880	-828	-1,707
その他 ^{*2}	+1,557	+63	+1,619
フリーキャッシュフロー	-1,744	-1,746	-3,490
	第1四半期	第2四半期	上期
20年度 フリーキャッシュフロー	-8,157	+3,110	-5,046

*1:ファイナンス・リース関連の投資は含まれない

*2:2021年度第1四半期にダイムラーAG株式の売却による収入+1,500億円を含む

在庫管理 (中国合併会社除く)

在庫状況
(千台)



事業セグメント別ネットキャッシュ (持分法適用ベース)

(億円)	2021年3月31日			2021年9月30日		
	自動車事業 及び消去	販売金融事業	連結計	自動車事業 及び消去	販売金融事業	連結計
第三者借入	20,946	55,046	75,992	17,379	54,116	71,495
販売金融へのグループ 内融資(ネット)	-8,345	8,345	0	-8,932	8,932	0
手元資金	18,961	1,379	20,340	13,970	1,358	15,328
ネットキャッシュ	6,360	-62,012	-55,652	5,523	-61,690	-56,167

本資料に記載されている将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいており、リスクと不確実性を含んでいます。従いまして、今後の当社グループの事業領域を取り巻く経済情勢、市場の動向、為替の変動等により、実際の業績がこれらの記述と大きく異なる可能性があることをご承知おきください。